

哈爾濱市防水工事報告

※ 太田河川科長



鋼矢板打込進行中ヲ江防艦隊前ヨリ上流ヲ望ム

要旨 本文は哈爾濱市に施工せられたる防水工事の概略を報告せるものである

目次

- 第一 緒言
- 第二 工事概況

第一 緒言

願れば大同元年八月建國草創にして未だ諸般の機構整はざるに哈爾濱市は前古未嘗有の大洪水に襲はれ、軍民必至の努力も其の効なく遂に本市の樞要地區 1,100 萬平方米は水中に没すること二ヶ月に及び民衆の倒壊悪疫の流行等算なく民衆をして一大恐怖に陥し入れたり

其の被害は直接のもののみを以つてしても四千萬圓に達し間接の被害を加ふれば優に一億圓を越へるものと稱せらる

茲に於て哈爾濱市は駐哈日本軍及中央當局の應援を得て罹災民の救済災害地區の復舊を計ると共に一方日本陸軍、特務機關の指導を受けて

水災豫防委員會を結成し萬一に備ふるに至り然るに康徳元年再度の大洪水を見るに至り、を以つて前記委員會は駐哈日本軍及特務機關指導の下に應急防水計劃を建て豫算六十萬圓以つて應急施設を爲し日本軍及官民の一致に依つて辛つじて水魔を免れたり

之を以つて哈爾濱特別市は恒久的防水施設必要を痛感し特に佐藤工務處長は國務院總並に國道局に之が本格的計劃を提言すると市自體に於ても同年十一月起債三十萬圓以つて應急施設の一部に着手せり一方國務院では時の鄭總理を初め中央當局之が施設を認め國道局長直木倫太郎博士をして其の案を作製せしむるの運びに至れり越へて同年七月國道局本間第二技術處長は其の具體携へて哈爾濱市に來り特務機關を中心とし政部都邑計劃科長、交通部、總務廳、主計交通監督部、滿鐵、航業聯合局、哈爾濱市當局者相集り三日間に亘る慎重論議の結果局の該計劃を以つて妥當なりと認め既に有る哈爾濱市の事業も擧げて包含することと工事は國道局哈爾濱建設處をして當らしめとくなれり爾來滿三年、其の間機構變遷在施工程關の名稱は多少變更せるも其の内容の大半は變ることなく終始一貫銳意之に努め康徳五年十月末日を以つて竣功のものなり

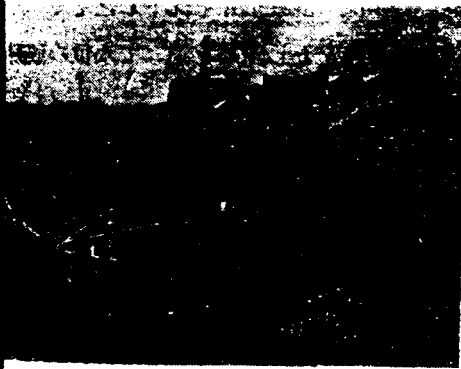
以下防水工事の實施概況を略述すべし

第二工事概況

本工事は計劃高水位たる標高一三四米三一(大同年八月の洪水位にして最大記録)より八九纏高く余裕を取りて堤防又は胸壁を築造したるものなるも亦北滿水運のための碼頭施設に於ても多大の考慮を拂ひたり

其他之に附帶する工事を列記するに次の五項となる

- 一、防水堤兼碼頭改良工事
- 2、築堤工事
- 4、護岸工事
- 3、陸閘築造工事
- 5、排水門築造工事



公園街排水管基礎工事施工状況

(一) 第一の防水堤兼碼頭改良工事は傅家甸八道街より上流景陽街に至る約二軒の江岸にて哈爾濱港として水運上最重要なる地點なる故に防水堤兼碼頭の設備を有せしめたり即舊來諸種雜多なる構造を有する江岸の築造を撤去し、高計劃洪水位總巾員約四十米の防堤を築造し更に之より八十九纏混泥土胸壁をつて之を二分し其の内側二十米は露天荷置場(一米)及通路(九米)となし外側には同様幅員(一米)四分の一勾配の小鋪石張の物揚場を採り多先は二割五分勾配の混泥土階段及垂直鋼鐵

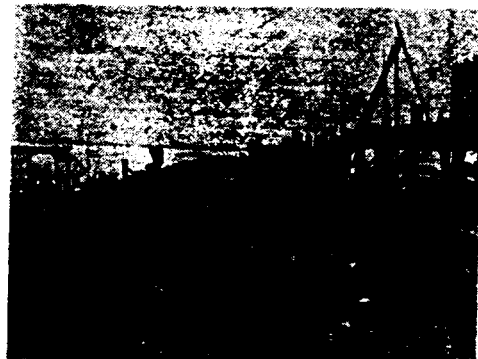
板擁壁を施し之に三十米毎に繫船柱を設置せる又前記胸壁には適當の間隔に巾員四米の閘門を設け貨客の通過洪水時の締切に便せり斯くて水位の如何に關せず船舶の接岸荷後を可能となし其の能力は舊に倍せりと言ふべし



鋼矢板打込及法線掘壁状況 (頭道街ヨリ下流ヲ望ム)

(二) 第二は純然たる築堤工事にして江岸防水堤の兩端たる傅家甸二十道街地先及正陽河地先より之に直角に江南の高地に向つて取付け其の延長約四軒〇六五なり工法は脆弱なる堤防を補強せるものにして其の堤頂幅員を九米乃至六米とし表法に於て洪水位迄は石張とせり

以上堤防總延長約六軒〇六五なるも此の外景陽街より八區地先を通過りて濱州線堤防に向ひ高さ前同様最大洪水位より八十九纏の余裕を有する鐵筋混泥土胸八九六米を築造す



第三區江防鐵線前 鋪錠鐸取付ケ終了

以上の堤防防水胸壁六軒九六一と埠頭區に於ける舊來の堤防約四軒とによりて本市の低區地域たる傳家甸八區埠頭區新安埠正陽河等其の面積1,530萬平方米の防水ぬなし得るものとす

(三) 第三の護岸工事は流水による洗掘を防止し以つて堤防及碼頭の安定を期するものにして正陽河地先及十九道街地先に於て延長八〇〇米を施工せり其の工法は栗石法覆を主とし特に急勾配の地點には缺線蛇籠を置き前法に栗石を投入し根固とせり

(四) 第四の陸閘築造工事は特殊工事にして即冬期には松花江と市街地との車馬の往來甚だ繁く防水堤を中斷して路面を低水位まで下ぐるの要あるが故に洪水時には之を陸閘となすの構造たらざるべからず即傳甸景陽街七道街十八道街の三所ヶ所に幅員二十米乃至一五米の構造陸

閘を設けたり工法は中間に三基又は二基の混凝土柱立て支柱となし門扉の代用として角落工を以つて中間に土砂を填充するもので從來の土囊積締切と異り確實に防水を爲なり又公園街堤防と濱北線鐵道同様陸閘をたり

(五) 第五の排水門工事は哈爾濱市の排割と關連して混凝土函型排水渠三ヶ所を築り

外に船揚場築造工事は十二道街附近碼頭で幅二十五米奥行十三米の「バース」を採内地の航務局工場と遂道を以て連絡せり又觀測所設置工事は正陽河江岸に低水位以下米五〇釐の深に混凝土井を沈下し之を更に連絡取付けをなし四季を道じて水位の觀可能ならしむるものなり

流 外

- ◎ 窮冬の歲沙漠へ奔ゆ鋭く
- ◎ 草原の黄に波打ちて冬晴るゝ
- ◎ 野邊送かたまり風が寒晒す
- ◎ 朔風に草原燃ゆるがままに燃え
- ◎ 包と並ぶ牛糞山に霜白し
- ◎ 煙鬼の面ン鋭く凍る月に褪ち
- ◎ 蓮花落水漬擽んで唄ひ繼ぐ

十二月二十七日

交通部通遼調查事務所

渡邊安三